

■投資に対する考え方

先日、こんなご相談がありました。
「お金を増やすにはどの投資商品に投資したらいい？」
正直、呆れてしまいました。。



他力本願では運用などできない。

あなたは、お金を運用するのに人を頼り切っていませんか？
自分が運用しようとしているお金はあなたが汗水垂らして稼いだお金です。それを運用するのに、他人に運用方法を決めてもらってははいけません。その結果、元本割れを起こすと「やれ、あの証券会社はあてにならない」とか、「あの銀行の担当者にいいようにされた」とかいう話になるのです。リスク商品で運用するのに、人に頼り切りたいという気持ちが強いのであれば、リスク商品での運用はあなたにとって不向きです。やめて郵便局の貯金にでも置いておくべきです。そうすれば、必ず少しずつでも、お金は増えていきます。

お金を本当に運用したいのなら、自分で調べることです。わからなければ、FPなど公的な人間に尋ねることです。ここで「公的」と言ったのは、特定の金融機関に属しているようなFPではなく、独立系のFPを指します。たいていの場合、名刺に「ファイナンシャルプランナー」と自分の勤めている会社の名刺に刷り込んでいますが、このような人は自分の利害(営業成績)を絡めて話をして来る可能性があります。その場合、本当に自分に合った商品を勧めてもらえない可能性があります。

あなたの事はあなたが一番知っている。



あなたのことは、一回会ったぐらいの人間ではどうていわかるはずなどありません。FPの制度が認知され始めたのはごく最近であり、欧米のように一家に一人のFPなどと言う習慣は日本でまだまだあり得ません。

ですから、最終的にはあなたが自分を判断して下さい。購入しようとしている商品について自分がどれだけ知っていて、どのような値動きをするものであり、自分がそれに耐えることができるのか？

人は自分が良かれと思って勧めた商品が本当に合っているのかなど、確かめる術などないのです。あるとすれば、クレームやお礼の言葉が返って来たときなのです。お礼の言葉にしても、結果だけを見てのお礼ならば、本来の意味を成していません。内容を十分理解してお礼なら非常に有用なものと言えます。

逆にクレームであった場合、それは有用な意味のあるものになります。なぜなら、そこでその人のリスク許容度がわかるのですから。

他人は情報源と思って下さい。

他人は情報源です。

決して、神様ではありません。投資結果などわかるはずなどないのです。「絶対に儲かります。」などという人は基本的に信用してはいけません。残念ながら信用して、大きな損を出してしまった方が今でもいるようですが、それは絶対にしてはならないことです。逆にそのようなことを言う人には、「じゃ、あなたはなぜその商品を買わないの？仕事などしていてもおもしろくないでしょ？」と言って見て下さい。自分の納得のいく適切な回答が即返ってくればまだしも、口ごもったり意地でも購入させようとする態度に出るのなら、お付き合いは止めた方がいいでしょう。

良いアドバイザーを見つけて下さい。



なかなか、難しいことかとは思いますが、良きアドバイザーを見つけて下さい。

無償でそのような人を見つけることは、かなり困難なことかと思われま。金銭に限らず、何らかの形で相手に報いるようなことがなければ真に信用できるアドバイザーは手に入らないかも知れません。

このように生意気なアドバイスをしている私自身も、できれば親身になってアドバイスをできるようになりたいとはかねがね思っています、なかなか生活を続け

ていく上では裏表の顔を持っていなければ、世の中を過ごしていくことはできません。やはり、何らかの自分にとってのメリットもなければ、相手を思いやることは難しいことと考えます。

ただし、勘違いしていただくといけないのですが、投資をする場合、やはり最終的には自分で判断して下さい。その投資商品に投資するのか、アドバイザーに賭けてみる(投資する)のかは自分で決めることです。厳しいようですが、結果がどうであれ、今の世の中は自己責任が原則です。